



2020.9.20

MESSAGE NOTES

喜び

エレミヤ書 32:38-41 ジェイムス ブラウン

喜びの大切さ

喜びという言葉は聖書に 218 回書いてあります。聖書の主なテーマです。神様は私達を喜びとする為に私達を創造され、私達は神様を喜びする為に生きています。そして聖書に愛しなさいと命令されているように私達は喜びなさいとも命令されています。

ペリピ人への手紙 4:4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。

私達を愛して下さる父なる神様はこのように命令しておられ、このことから三つのことがわかります。喜ぶかどうかは選択が出来、喜ぶのは欠かせないこと、そして不可能でもありません。子供を愛すどんな父親でも子供が自分でコントロール出来ないことや不可能なことは指示しません。神様は人間の父親と同じように、子供に為になる命令しかしません。そしてその命令を達成する事が出来るように、そばに居て、ずっと一歩ずつ助けて下さいます。神様は何よりも私達を喜びに溢れて欲しい、それほど私達のことを愛しているのです。

本当の喜び

この話は一時的なものではなく、永遠までの強固かつ安定的な喜びについてです。この世にない喜び、心の底から深く、強い、外の状態に関係ない、確固たる不動の喜びです。この喜びは神様からしのみ、神様との関係以外あり得ません。

喜びをもっと持てるように

クリスチャンにとっては、二つの条件で必然的な喜びとなります。真理を知る事と信じる事です。聖書に書いてある真理を知ること、神様はどんなお方なのか、私達のために何をして下さるか、私達に対してどのような素晴らしい計画を持っておられるかという真理、そしてこの真理を信じるように戦えば戦うほど喜びが溢れます。

わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。・・・主の御告げ。・・・それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。エレミヤ書 29:11